

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2017年11月20日まで（2013年1月31日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際オーストラリア債券オープン（毎月決算型）	LM・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	LM・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）	豪ドル建の公社債
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主に豪ドル建の公社債に投資します。 ・ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーフワイ・リミテッドが実質的な運用を行うファンドを通じて投資を行います。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[満期償還]

国際オーストラリア債券 オープン（毎月決算型）



第53期（決算日：2017年6月20日）
 第54期（決算日：2017年7月20日）
 第55期（決算日：2017年8月21日）
 第56期（決算日：2017年9月20日）
 第57期（決算日：2017年10月20日）
 信託終了日：2017年11月20日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、「国際オーストラリア債券オープン（毎月決算型）」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数） ブルームバーグオーストラリア 債券（総合）インデックス （為替ヘッジなし、 円換算ベース）		債 組 入 比 率	券 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金	期 騰 落	中 率					
29期(2015年6月22日)	円 銭	円	%	%	%	%	%	%	%	百万円
	8,003	100	△0.0	804,231	0.2	0.0	—	98.0	—	3,324
30期(2015年7月21日)	7,603	100	△3.7	774,443	△3.7	0.0	—	98.7	—	3,131
31期(2015年8月20日)	7,533	100	0.4	775,985	0.2	0.0	—	97.9	—	3,056
32期(2015年9月24日)	6,867	100	△7.5	720,194	△7.2	0.0	—	99.4	—	2,508
33期(2015年10月20日)	7,008	100	3.5	746,772	3.7	0.0	—	97.8	—	2,647
34期(2015年11月20日)	6,971	100	0.9	751,618	0.6	0.0	—	98.1	—	2,587
35期(2015年12月21日)	6,788	100	△1.2	743,804	△1.0	0.0	—	98.4	—	2,364
36期(2016年1月20日)	6,291	100	△5.8	700,756	△5.8	0.0	—	98.0	—	2,134
37期(2016年2月22日)	6,247	70	0.4	705,434	0.7	0.0	—	98.6	—	2,079
38期(2016年3月22日)	6,446	70	4.3	737,593	4.6	0.0	—	99.5	—	1,996
39期(2016年4月20日)	6,419	70	0.7	742,191	0.6	0.0	—	96.2	—	2,017
40期(2016年5月20日)	6,035	70	△4.9	704,583	△5.1	0.0	—	97.9	—	1,870
41期(2016年6月20日)	5,884	70	△1.3	697,180	△1.1	0.0	—	97.9	—	1,774
42期(2016年7月20日)	5,986	70	2.9	717,980	3.0	0.0	—	98.1	—	1,796
43期(2016年8月22日)	5,709	70	△3.5	693,627	△3.4	0.0	—	98.7	—	1,681
44期(2016年9月20日)	5,617	70	△0.4	690,016	△0.5	—	—	98.2	—	1,629
45期(2016年10月20日)	5,751	70	3.6	715,415	3.7	—	—	98.2	—	1,647
46期(2016年11月21日)	5,700	70	0.3	717,842	0.3	—	—	97.9	—	1,652
47期(2016年12月20日)	5,880	40	3.9	745,960	3.9	—	—	98.0	—	1,659
48期(2017年1月20日)	5,986	40	2.5	768,189	3.0	—	—	98.1	—	1,568
49期(2017年2月20日)	5,931	40	△0.3	764,982	△0.4	—	—	99.5	—	1,475
50期(2017年3月21日)	5,928	40	0.6	770,247	0.7	—	—	98.0	—	1,338
51期(2017年4月20日)	5,630	40	△4.4	738,238	△4.2	—	—	97.9	—	1,274
52期(2017年5月22日)	5,686	40	1.7	750,463	1.7	—	—	98.4	—	1,250
53期(2017年6月20日)	5,785	40	2.4	770,452	2.7	—	—	98.1	—	1,201
54期(2017年7月20日)	5,969	40	3.9	800,806	3.9	—	—	99.5	—	1,144
55期(2017年8月21日)	5,818	40	△1.9	784,974	△2.0	—	—	98.2	—	1,053
56期(2017年9月20日)	5,908	40	2.2	803,722	2.4	—	—	98.1	—	1,052
57期(2017年10月20日)	5,861	40	△0.1	802,698	△0.1	—	—	98.6	—	988
(償還時)	(償還価額)									
58期(2017年11月20日)	5,822.90	—	△0.7	775,359	△3.4	—	—	—	—	945

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) 当ファンドはブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ヘッジなし、円換算ベース）を参考指数としています。ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ヘッジなし、円換算ベース）は、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（豪ドルベース）の基準日前営業日（現地ベース）の指数を基準日の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したものです。
- ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）は、三菱UFJ国際投信の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標またはサービスマークであり、三菱UFJ国際投信に対してライセンスされています。ブルームバーグは、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		（ 参 考 指 数 ） ブルームバークオーストラリア 債券（総合）インデックス （為替ヘッジなし、 円換算ベース）		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率					
第53期	(期首) 2017年5月22日	円 銭 5,686	% —	750,463	% —	% —	% —	% 98.4
	5月末	5,702	0.3	753,148	0.4	—	—	98.5
	(期末) 2017年6月20日	5,825	2.4	770,452	2.7	—	—	98.1
第54期	(期首) 2017年6月20日	5,785	—	770,452	—	—	—	98.1
	6月末	5,836	0.9	779,252	1.1	—	—	98.2
	(期末) 2017年7月20日	6,009	3.9	800,806	3.9	—	—	99.5
第55期	(期首) 2017年7月20日	5,969	—	800,806	—	—	—	99.5
	7月末	5,914	△0.9	793,297	△0.9	—	—	98.3
	(期末) 2017年8月21日	5,858	△1.9	784,974	△2.0	—	—	98.2
第56期	(期首) 2017年8月21日	5,818	—	784,974	—	—	—	98.2
	8月末	5,858	0.7	790,631	0.7	—	—	98.0
	(期末) 2017年9月20日	5,948	2.2	803,722	2.4	—	—	98.1
第57期	(期首) 2017年9月20日	5,908	—	803,722	—	—	—	98.1
	9月末	5,854	△0.9	795,470	△1.0	—	—	98.1
	(期末) 2017年10月20日	5,901	△0.1	802,698	△0.1	—	—	98.6
第58期	(期首) 2017年10月20日	5,861	—	802,698	—	—	—	98.6
	10月末	5,768	△1.6	789,161	△1.7	—	—	98.2
	(償還時) 2017年11月20日	(償還価額) 5,822.90	△0.7	775,359	△3.4	—	—	—

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

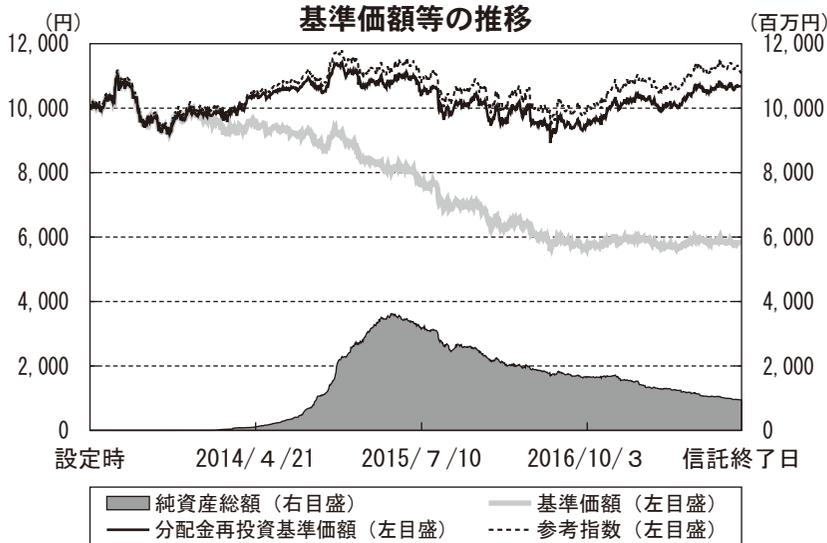
運用経過

設定来の基準価額等の推移について

（第1期～第58期：2013/1/31～2017/11/20）

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ6.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	インカム収入を獲得したことや豪ドル建公社債の金利低下などが基準価額にプラスに寄与しました。
下落要因	豪ドルが対円で下落したことが基準価額にマイナスに作用しました。

投資環境について

（第1期～第58期：2013/1/31～2017/11/20）

◎オーストラリア債券市況

- ・オーストラリア債券市況は、米国で2013年5月から2013年後半にかけて、米連邦準備制度理事会（FRB）議長が量的金融緩和の縮小に前向きな姿勢を示し、米国国債利回りが上昇したことが影響し、オーストラリア債券市況が軟調となる場面がありました。その後、2014年後半にオーストラリアの経済成長が鈍化し、オーストラリア準備銀行（RBA）による利下げ観測が強まった場面や2016年初に資源価格が下落し、市場参加者のリスク回避姿勢が強まった場面などで、オーストラリア債券市況が堅調に推移した結果、信託期間を通して見るとオーストラリア債券市況は上昇しました。

為替市況の推移
（設定時を100として指数化）



◎為替市況

- ・日銀が実施した大規模な金融緩和などを受けて円が主要国通貨に対して下落する局面で豪ドルが堅調となる場面があったものの、オーストラリアの主要な輸出品目である鉄鉱石等の資源価格が下落したことやRBAが政策金利を引き下げたことなどを背景に豪ドルは対円で軟調な展開となり、信託期間を通して見ると豪ドルは対円で下落しました。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・設定時から2016年1月までの無担保コール翌日物金利は、日銀による金融緩和政策の影響を受けて、0.1%を下回る水準で推移しました。2016年2月のマイナス金利の適用開始以降は、おおむねマイナス圏での推移となり、足下ではマイナス0.05%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・設定時から2013年3月にかけての国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、日銀による追加金融緩和観測が高まったことなどから低下傾向となりました。
- ・2013年4月の日銀の金融政策決定会合で量的・質的金融緩和が決定された以降の国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどからおおむねマイナス0.1%～0.1%の範囲で推移しました。

- ・2016年1月の日銀の金融政策決定会合でマイナス金利の導入が決定されると金利低下圧力が強くなり、2016年12月にかけてはマイナス0.45%程度まで低下しました。その後、短期国債の需給が緩和したことなどから上昇傾向となり、足下はマイナス0.24%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<国際オーストラリア債券オープン（毎月決算型）>

- ・LM・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れた運用を行い、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。
- ・信託期間を通して見ると、当ファンドの基準価額は設定時に比べ、6.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第1作成期（第1期～第4期：設定時～2013年5月20日）>

基準価額は設定時に比べ6.7%の上昇となりました。

<第2作成期（第5期～第10期：2013年5月21日～2013年11月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ6.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第3作成期（第11期～第16期：2013年11月21日～2014年5月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ4.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第4作成期（第17期～第22期：2014年5月21日～2014年11月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ9.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第5作成期（第23期～第28期：2014年11月21日～2015年5月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ3.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第6作成期（第29期～第34期：2015年5月21日～2015年11月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ6.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第7作成期（第35期～第40期：2015年11月21日～2016年5月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ6.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第8作成期（第41期～第46期：2016年5月21日～2016年11月21日）>

基準価額は当作成期首に比べ1.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第9作成期（第47期～第52期：2016年11月22日～2017年5月22日）>

基準価額は当作成期首に比べ3.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第10作成期（第53期～第58期：2017年5月23日～信託終了日）>

償還価額は当作成期首に比べ5.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・満期償還に向け2017年11月10日にLM・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）およびマネー・プール マザーファンドの組入比率をゼロにしました。

<LM・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）>

（当記載は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社から提供されたLM・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）の資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。）

- ・主として豪ドル建の国債、州政府債、国際機関債、社債、モーゲージ証券および資産担保証券等に投資を行いました。
- ・信託期間を通して見ると、基準価額（分配金再投資ベース）は設定時に比べ上昇しました。

<第1作成期（第1期～第4期：設定時～2013年5月20日）>

基準価額（分配金再投資ベース）は設定時に比べ上昇しました。

- ・インカム収入を獲得したことや豪ドルが対円で上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

<第2作成期（第5期～第10期：2013年5月21日～2013年11月20日）>

基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ下落しました。

- ・インカム収入を獲得したことが基準価額にプラスに寄与したものの、豪ドルが対円で下落したことや金利上昇などが基準価額にマイナスに作用しました。

<第3作成期（第11期～第16期：2013年11月21日～2014年5月20日）>

基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ上昇しました。

- ・インカム収入を獲得したことや金利低下などが基準価額にプラスに寄与しました。

<第4作成期（第17期～第22期：2014年5月21日～2014年11月20日）>

基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ上昇しました。

- ・インカム収入を獲得したことや豪ドルが対円で上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。

<第5作成期（第23期～第28期：2014年11月21日～2015年5月20日）>

基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ下落しました。

- ・インカム収入を獲得したことがプラスに寄与したものの、豪ドルが対円で下落したことが基準価額にマイナスに作用しました。

<第6作成期（第29期～第34期：2015年5月21日～2015年11月20日）>

基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ下落しました。

- ・インカム収入を獲得したことが基準価額にプラスに寄与したものの、豪ドルが対円で下落したことが基準価額にマイナスに作用しました。

<第7作成期（第35期～第40期：2015年11月21日～2016年5月20日）>

基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ下落しました。

- ・インカム収入を獲得したことや金利低下が基準価額にプラスに寄与したものの、豪ドルが対円で下落したことが基準価額にマイナスに作用しました。

<第8作成期（第41期～第46期：2016年5月21日～2016年11月21日）>

基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ上昇しました。

- ・インカム収入を獲得したことや豪ドルが対円で上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。

<第9作成期（第47期～第52期：2016年11月22日～2017年5月22日）>

基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ上昇しました。

- ・インカム収入を獲得したことや豪ドルが対円で上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。

<第10作成期（第53期～第58期：2017年5月23日～信託終了日）>

基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ上昇しました。

- ・インカム収入を獲得したことや豪ドルが対円で上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。

<マネー・プール マザーファンド>

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。

<第1作成期（第1期～第4期：設定時～2013年5月20日）>

基準価額は設定時に比べ0.03%の上昇となりました。

<第2作成期（第5期～第10期：2013年5月21日～2013年11月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ0.03%の上昇となりました。

<第3作成期（第11期～第16期：2013年11月21日～2014年5月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ0.03%の上昇となりました。

<第4作成期（第17期～第22期：2014年5月21日～2014年11月20日）>
基準価額は当作成期首に比べ0.02%の上昇となりました。

<第5作成期（第23期～第28期：2014年11月21日～2015年5月20日）>
基準価額は当作成期首に比べ0.02%の上昇となりました。

<第6作成期（第29期～第34期：2015年5月21日～2015年11月20日）>
基準価額は当作成期首に比べ0.01%の上昇となりました。

<第7作成期（第35期～第40期：2015年11月21日～2016年5月20日）>
基準価額は当作成期首に比べ0.02%の上昇となりました。

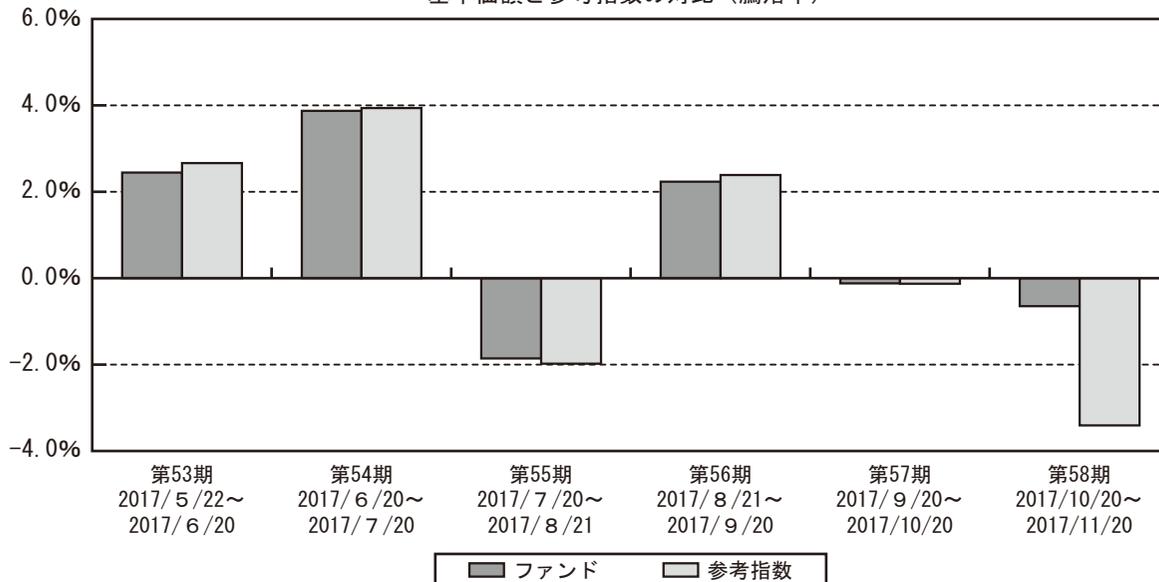
<第8作成期（第41期～第46期：2016年5月21日～2016年11月21日）>
基準価額は当作成期首に比べ0.04%の下落となりました。

<第9作成期（第47期～第52期：2016年11月22日～2017年5月22日）>
基準価額は当作成期首に比べ0.01%の下落となりました。

<第10作成期（第53期～第58期：2017年5月23日～信託終了日）>
基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第53期～第58期：2017/5/23～信託終了日）

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ヘッジなし、円換算ベース）です。
- ・なお、設定来の基準価額は6.8%（分配金再投資ベース）の上昇、参考指数は10.0%の上昇となりました。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、第1期から第9期までは分配を見送り、第10期から第26期までは150円、第27期から第36期までは100円、第37期から第46期までは70円、第47期から第57期までは40円の分配とさせていただきます。信託期間中、累計で4,690円の分配を行わせていただきました。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
	2017年5月23日～ 2017年6月20日	2017年6月21日～ 2017年7月20日	2017年7月21日～ 2017年8月21日	2017年8月22日～ 2017年9月20日	2017年9月21日～ 2017年10月20日
当期分配金	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.687%	0.666%	0.683%	0.672%	0.678%
当期の収益	40	40	38	40	39
当期の収益以外	—	—	1	—	0
翌期繰越分配対象額	1,052	1,055	1,054	1,057	1,056

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

償還価額

＜国際オーストラリア債券オープン（毎月決算型）＞

償還価額は5,822円90銭となりました。

信託期間中はご愛顧賜り、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年5月23日～2017年11月20日)

項 目	第53期～第58期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 29 (9) (19) (1)	% 0.495 (0.160) (0.319) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	29	0.497	
作成期中の平均基準価額は、5,822円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年5月23日～2017年11月20日)

投資信託証券

銘 柄	第53期～第58期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	千口	千円	千口	千円
LM・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）	118,633	60,790	2,559,008	1,322,139

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第53期～第58期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
マネー・プール	マザーファンド	—	—	0.997	1

○利害関係人との取引状況等

(2017年5月23日～2017年11月20日)

利害関係人との取引状況

<国際オーストラリア債券オープン（毎月決算型）>

区 分	第53期～第58期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 60	百万円 60	% 100.0	百万円 1,322	百万円 1,322	% 100.0

<マネー・プール マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年11月20日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第52期末	
		口	数
LM・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）			千口 2,440,374
合	計		2,440,374

親投資信託残高

銘	柄	第52期末	
		口	数
マネー・プール	マザーファンド		千口
			0.997

○投資信託財産の構成

(2017年11月20日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
コール・ローン等、その他		953,732	100.0
投資信託財産総額		953,732	100.0

○資産、負債、元本及び基準(償還)価額の状況

項	目	第53期末	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	償 還 時
		2017年6月20日現在	2017年7月20日現在	2017年8月21日現在	2017年9月20日現在	2017年10月20日現在	2017年11月20日現在
		円	円	円	円	円	円
(A) 資産		1,213,999,350	1,183,900,055	1,064,369,753	1,062,654,265	1,005,926,449	953,732,693
	コール・ローン等	33,091,023	31,759,371	29,331,400	29,525,956	27,303,601	953,732,693
	投資信託受益証券(評価額)	1,178,801,513	1,138,266,648	1,034,119,584	1,032,389,736	973,882,843	—
	マネー・プール マザーファンド(評価額)	1,001	1,001	1,001	1,001	1,001	—
	未収入金	2,105,813	13,873,035	917,768	737,572	4,739,004	—
(B) 負債		12,695,741	39,480,403	11,043,942	9,735,941	17,847,881	7,962,000
	未払収益分配金	8,305,657	7,669,543	7,242,046	7,128,207	6,743,847	—
	未払解約金	3,397,503	30,839,058	2,834,811	1,734,928	10,264,195	7,134,997
	未払信託報酬	988,281	967,595	962,908	869,026	836,213	821,900
	未払利息	60	55	45	55	40	1,581
	その他未払費用	4,240	4,152	4,132	3,725	3,586	3,522
(C) 純資産総額(A-B)		1,201,303,609	1,144,419,652	1,053,325,811	1,052,918,324	988,078,568	945,770,693
	元本	2,076,414,331	1,917,385,775	1,810,511,713	1,782,051,774	1,685,961,866	1,624,227,556
	次期繰越損益金	△ 875,110,722	△ 772,966,123	△ 757,185,902	△ 729,133,450	△ 697,883,298	—
	償還差損金	—	—	—	—	—	△ 678,456,863
(D) 受益権総口数		2,076,414,331口	1,917,385,775口	1,810,511,713口	1,782,051,774口	1,685,961,866口	1,624,227,556口
	1万口当たり基準価額(C/D)	5,785円	5,969円	5,818円	5,908円	5,861円	—
	1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	—	5,822円90銭

○損益の状況

項 目	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
	2017年5月23日～ 2017年6月20日	2017年6月21日～ 2017年7月20日	2017年7月21日～ 2017年8月21日	2017年8月22日～ 2017年9月20日	2017年9月21日～ 2017年10月20日	2017年10月21日～ 2017年11月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	9,223,621	8,470,486	7,997,901	7,863,729	7,465,354	△ 11,651
受取配当金	9,224,842	8,471,636	7,999,293	7,864,994	7,466,055	—
受取利息	—	27	16	21	42	—
支払利息	△ 1,221	△ 1,177	△ 1,408	△ 1,286	△ 743	△ 11,651
(B) 有価証券売買損益	20,784,966	35,254,305	△ 27,044,284	16,248,308	△ 7,922,989	△ 5,286,248
売買益	21,059,639	36,379,201	611,968	16,371,730	573,912	128,346
売買損	△ 274,673	△ 1,124,896	△ 27,656,252	△ 123,422	△ 8,496,901	△ 5,414,594
(C) 信託報酬等	△ 992,521	△ 971,747	△ 967,040	△ 872,751	△ 839,799	△ 825,422
(D) 当期損益金(A+B+C)	29,016,066	42,753,044	△ 20,013,423	23,239,286	△ 1,297,434	△ 6,123,321
(E) 前期繰越損益金	△ 388,320,145	△ 337,296,438	△ 282,822,393	△ 303,644,456	△ 271,153,252	△ 268,545,484
(F) 追加信託差損益金	△ 507,500,986	△ 470,753,186	△ 447,108,040	△ 441,600,073	△ 418,688,765	△ 403,788,058
(配当等相当額)	(216,732,927)	(200,146,418)	(189,012,339)	(186,056,875)	(176,044,328)	(169,601,023)
(売買損益相当額)	(△ 724,233,913)	(△ 670,899,604)	(△ 636,120,379)	(△ 627,656,948)	(△ 594,733,093)	(△ 573,389,081)
(G) 計(D+E+F)	△ 866,805,065	△ 765,296,580	△ 749,943,856	△ 722,005,243	△ 691,139,451	—
(H) 収益分配金	△ 8,305,657	△ 7,669,543	△ 7,242,046	△ 7,128,207	△ 6,743,847	—
次期繰越損益金(G+H)	△ 875,110,722	△ 772,966,123	△ 757,185,902	△ 729,133,450	△ 697,883,298	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	—	—	—	—	△ 678,456,863
追加信託差損益金	△ 507,500,986	△ 470,753,186	△ 447,108,040	△ 441,600,073	△ 418,688,765	—
(配当等相当額)	(216,732,927)	(200,146,418)	(189,012,339)	(186,056,875)	(176,044,328)	(—)
(売買損益相当額)	(△ 724,233,913)	(△ 670,899,604)	(△ 636,120,379)	(△ 627,656,948)	(△ 594,733,093)	(—)
分配準備積立金	1,807,099	2,270,801	1,913,916	2,325,126	2,074,375	—
繰越損益金	△ 369,416,835	△ 304,483,738	△ 311,991,778	△ 289,858,503	△ 281,268,908	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 2,199,081,388円
 作成期中追加設定元本額 64,118,517円
 作成期中一部解約元本額 638,972,349円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.582290円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は678,456,863円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2017年5月23日～ 2017年6月20日	2017年6月21日～ 2017年7月20日	2017年7月21日～ 2017年8月21日	2017年8月22日～ 2017年9月20日	2017年9月21日～ 2017年10月20日
費用控除後の配当等収益額	8,918,520円	8,282,259円	7,030,861円	7,579,125円	6,625,555円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	216,732,927円	200,146,418円	189,012,339円	186,056,875円	176,044,328円
分配準備積立金額	1,194,236円	1,658,085円	2,125,101円	1,874,208円	2,192,667円
当ファンドの分配対象収益額	226,845,683円	210,086,762円	198,168,301円	195,510,208円	184,862,550円
1万口当たり収益分配対象額	1,092円	1,095円	1,094円	1,097円	1,096円
1万口当たり分配金額	40円	40円	40円	40円	40円
収益分配金金額	8,305,657円	7,669,543円	7,242,046円	7,128,207円	6,743,847円

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年1月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年11月20日		資産総額	953,732,693円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	7,962,000円
受益権口数	1,000,000口	1,624,227,556口	1,623,227,556口	純資産総額	945,770,693円
元本額	1,000,000円	1,624,227,556円	1,623,227,556円	受益権口数	1,624,227,556口
				1万円当たり償還金	5,822円90銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,000,000円	1,009,749円	10,097円	0円	0.0%
第2期	1,000,000	1,034,933	10,349	0	0.0
第3期	1,000,000	1,079,428	10,794	0	0.0
第4期	1,000,000	1,066,727	10,667	0	0.0
第5期	1,000,000	948,908	9,489	0	0.0
第6期	1,000,000	971,387	9,714	0	0.0
第7期	1,000,000	934,988	9,350	0	0.0
第8期	1,000,000	989,693	9,897	0	0.0
第9期	1,000,000	996,333	9,963	0	0.0
第10期	1,000,000	980,347	9,803	150	1.5
第11期	2,118,402	2,012,670	9,501	150	1.5
第12期	27,031,807	25,234,153	9,335	150	1.5
第13期	65,351,116	60,836,461	9,309	150	1.5
第14期	88,206,567	81,164,090	9,202	150	1.5
第15期	122,111,905	115,572,847	9,465	150	1.5
第16期	177,086,090	164,683,503	9,300	150	1.5
第17期	252,256,522	234,861,187	9,310	150	1.5
第18期	368,846,318	338,484,409	9,177	150	1.5
第19期	517,771,678	471,441,990	9,105	150	1.5
第20期	882,931,622	796,764,753	9,024	150	1.5
第21期	1,280,656,075	1,112,115,721	8,684	150	1.5
第22期	1,936,535,134	1,786,845,298	9,227	150	1.5
第23期	2,668,152,652	2,357,897,673	8,837	150	1.5
第24期	3,084,147,851	2,690,155,889	8,723	150	1.5
第25期	3,663,452,074	3,038,365,621	8,294	150	1.5
第26期	4,130,224,676	3,377,449,776	8,177	150	1.5
第27期	4,455,319,316	3,623,022,967	8,132	100	1.0
第28期	4,269,146,290	3,459,734,790	8,104	100	1.0
第29期	4,154,194,200	3,324,808,260	8,003	100	1.0
第30期	4,119,061,101	3,131,525,735	7,603	100	1.0
第31期	4,058,178,799	3,056,873,777	7,533	100	1.0

国際オーストラリア債券オープン（毎月決算型）

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第32期	3,652,467,528円	2,508,191,454円	6,867円	100円	1.0%
第33期	3,777,133,930	2,647,042,250	7,008	100	1.0
第34期	3,711,683,157	2,587,380,698	6,971	100	1.0
第35期	3,482,637,202	2,364,171,331	6,788	100	1.0
第36期	3,392,965,663	2,134,581,870	6,291	100	1.0
第37期	3,328,792,711	2,079,500,692	6,247	70	0.7
第38期	3,096,876,748	1,996,261,601	6,446	70	0.7
第39期	3,143,762,192	2,017,850,344	6,419	70	0.7
第40期	3,099,560,253	1,870,454,482	6,035	70	0.7
第41期	3,016,571,278	1,774,915,790	5,884	70	0.7
第42期	3,001,779,714	1,796,798,856	5,986	70	0.7
第43期	2,944,900,425	1,681,232,779	5,709	70	0.7
第44期	2,901,037,388	1,629,649,119	5,617	70	0.7
第45期	2,864,329,171	1,647,308,124	5,751	70	0.7
第46期	2,899,999,166	1,652,920,391	5,700	70	0.7
第47期	2,821,831,701	1,659,129,825	5,880	40	0.4
第48期	2,620,744,154	1,568,703,094	5,986	40	0.4
第49期	2,487,244,967	1,475,097,351	5,931	40	0.4
第50期	2,258,618,180	1,338,822,537	5,928	40	0.4
第51期	2,264,705,041	1,274,981,794	5,630	40	0.4
第52期	2,199,081,388	1,250,339,980	5,686	40	0.4
第53期	2,076,414,331	1,201,303,609	5,785	40	0.4
第54期	1,917,385,775	1,144,419,652	5,969	40	0.4
第55期	1,810,511,713	1,053,325,811	5,818	40	0.4
第56期	1,782,051,774	1,052,918,324	5,908	40	0.4
第57期	1,685,961,866	988,078,568	5,861	40	0.4

○分配金のお知らせ

	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
1万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	5,822円90銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

LM・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）

信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載しておりません。

マネー・プール マザーファンド

《第16期》決算日2017年7月14日

[計算期間：2017年1月17日～2017年7月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第16期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	純総資産額
		期騰	落中率				
12期(2015年7月14日)	円 10,049		% 0.0		% 85.2		百万円 821
13期(2016年1月14日)	10,049		0.0	70.3	—	852	
14期(2016年7月14日)	10,050		0.0	62.2	—	241	
15期(2017年1月16日)	10,047		△0.0	—	—	355	
16期(2017年7月14日)	10,046		△0.0	—	—	284	

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
		騰	落中率				
(期首) 2017年1月16日	円 10,047		% —		% —		% —
1月末	10,047		0.0	—	—	—	
2月末	10,047		0.0	—	—	—	
3月末	10,047		0.0	—	—	—	
4月末	10,046		△0.0	—	—	—	
5月末	10,046		△0.0	—	—	—	
6月末	10,046		△0.0	—	—	—	
(期末) 2017年7月14日	10,046		△0.0	—	—	—	

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

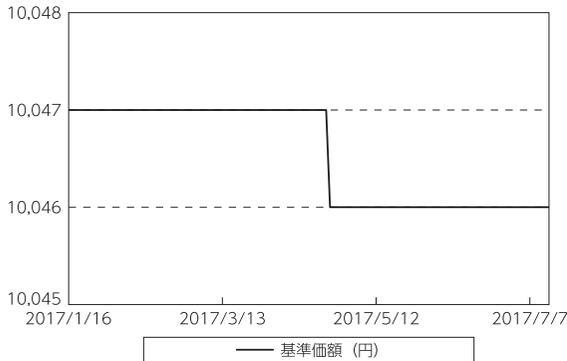
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

<無担保コール翌日物金利の推移>

・日本銀行による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日本銀行のマイナス金利の適用を受けて、足下ではマイナス0.04%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

・日本銀行による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは概ねマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。マイナス0.2%以下で推移していた国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、需給の緩和や日本銀行の買入額減少などを背景に2017年3月中旬から上昇傾向となり、足下はマイナス0.12%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて下落となりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日本銀行の物価目標である2%には届かないと考えています。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2017年1月17日～2017年7月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年1月17日～2017年7月14日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 29,199,990	千円 29,299,991

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年1月17日～2017年7月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年7月14日現在)

国内その他有価証券

区分	当期末	
	評価額	比率
コマーシャル・ペーパー	千円 199,999	% 70.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2017年7月14日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
その他有価証券	千円 199,999	% 70.3
コール・ローン等、その他	84,462	29.7
投資信託財産総額	284,461	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年7月14日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	284,461,355
コール・ローン等	84,461,443
其他有価証券(評価額)	199,999,912
(B) 負債	212
未払解約金	90
未払利息	122
(C) 純資産総額(A-B)	284,461,143
元本	283,155,785
次期繰越損益金	1,305,358
(D) 受益権総口数	283,155,785口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,046円

<注記事項>

- ①期首元本額 353,746,538円
期中追加設定元本額 370,805,345円
期中一部解約元本額 441,396,098円
また、1口当たり純資産額は、期末1.0046円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
新興国公社債オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンド(年2回決算型)	7,029,199円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,982,187円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,989円
マナー・プール・ファンドIV	1,144,654円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,977円

○損益の状況 (2017年1月17日~2017年7月14日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 18,343
受取利息	1,144
支払利息	△ 19,487
(B) 当期損益金(A)	△ 18,343
(C) 前期繰越損益金	1,656,110
(D) 追加信託差損益金	1,726,886
(E) 解約差損益金	△2,059,295
(F) 計(B+C+D+E)	1,305,358
次期繰越損益金(F)	1,305,358

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドV (年2回決算型)	18,968,681円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド (毎月決算型)	999円
マナー・プール・ファンドVI	131,011,010円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
国際オーストラリア債券オープン (毎月決算型)	997円
リスク・パリティαオープン	995円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
国際アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX (1年決算型)	1,525,264円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)	67,686,028円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,957円

US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
米国成長株オープン	996円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
合計	283,155,785円